

答申書（案）について 説明資料

飯能市 上下水道部 下水道課

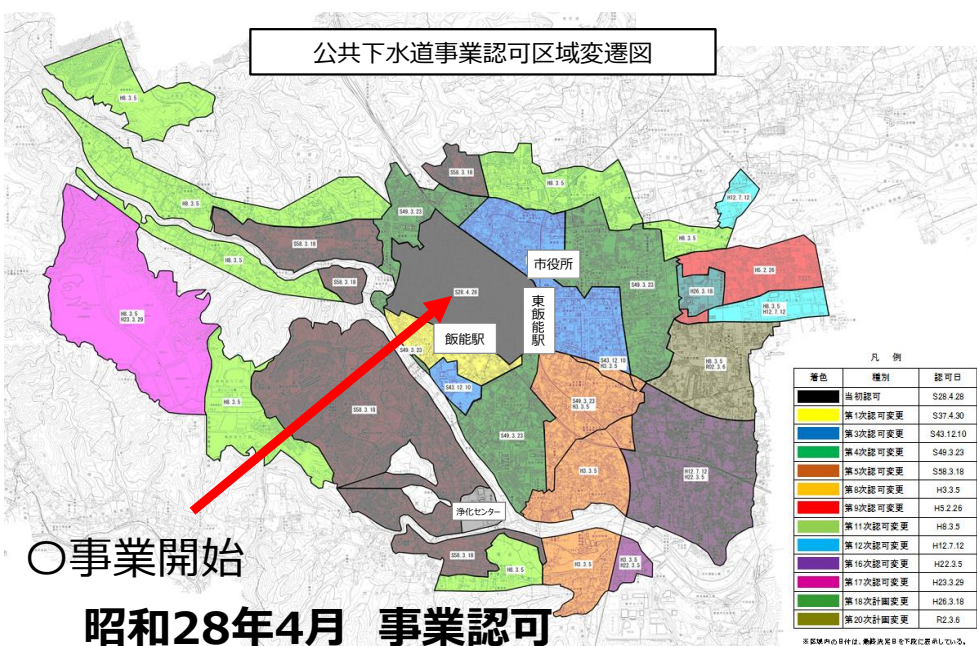
1

説明資料 1 はじめに

2

1 飯能市の下水道

(2) 下水道の状況



昭和30年頃の工事の様子（博物館提供）³

1 飯能市の下水道

(1) 下水道の役割

下水道法

現在の下水道事業は、
「浸水防除」、「公衆衛生の向上」、「公共用水域の水質保全」
 を大きな目的として事業を実施。

- 浸水防除 : 都市に降った雨の排除により浸水被害を防除するもの
- 公衆衛生の向上 : 市街地に汚水が滞留しないよう、汚水を排除し、公衆衛生を確保するもの
- 公共用水域の水質保全 : 汚水を適切に処理することで、河川、流域等の水質を保全するもの

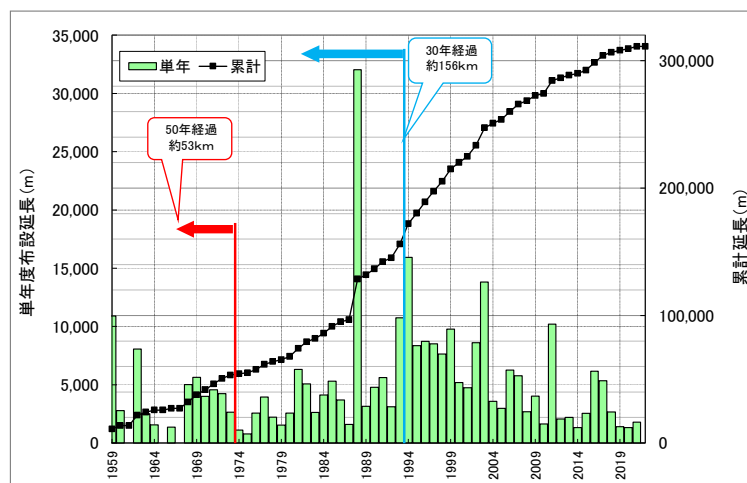
1 飯能市の下水道

(2) 下水道の状況

○下水道整備状況（令和5年度末）

・布設延長：約300 km

50年経過	53km (18%)
30～50年経過	103km (35%)
老朽管きよ	156km (53%)

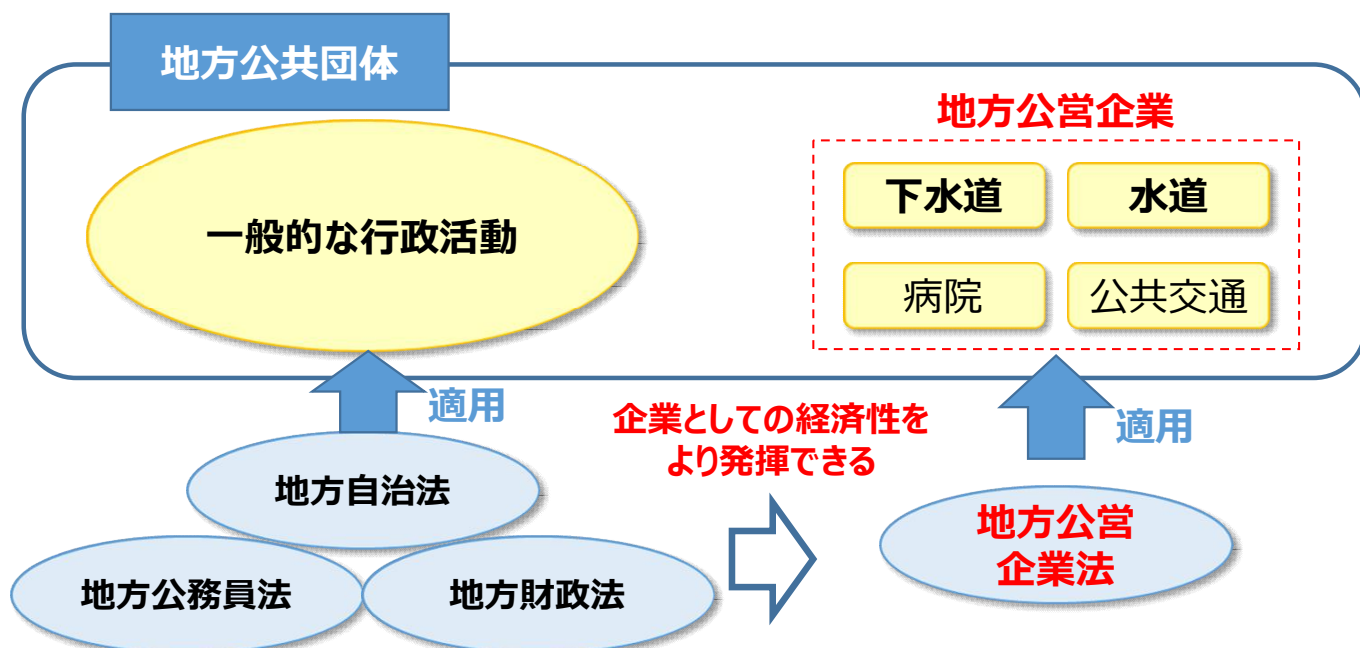


・普及率：72.7%

(処理人口) 56,881人 ÷ (飯能市人口) 78,278人

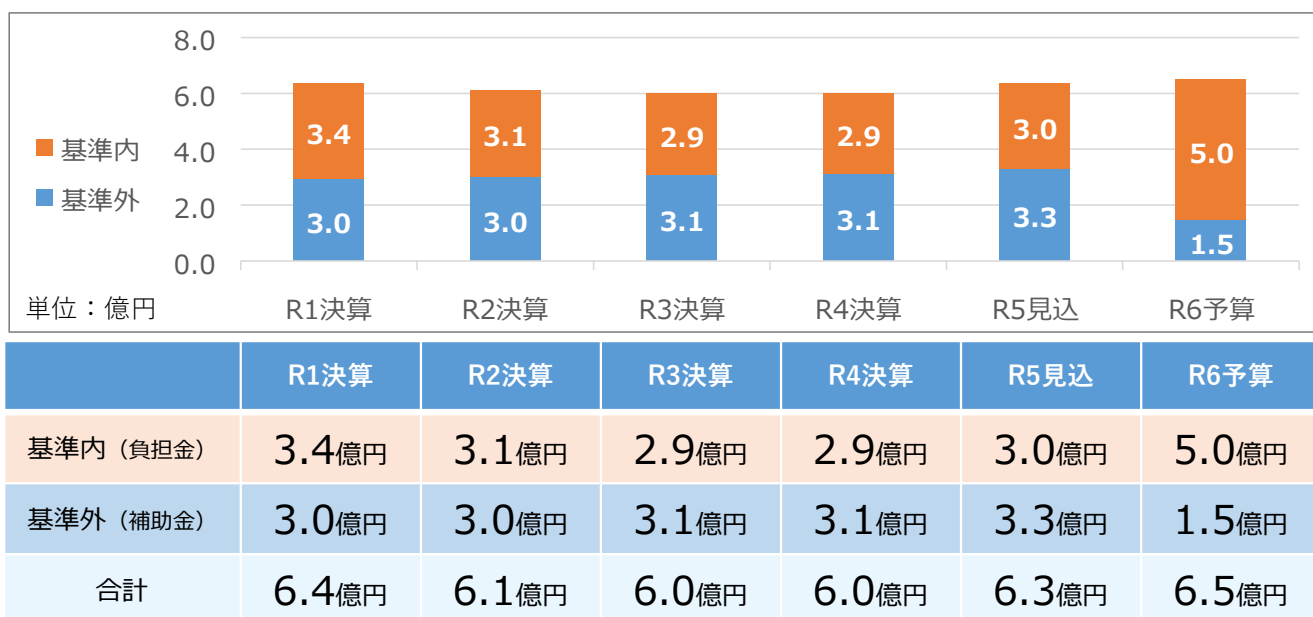
2 経営の原則

(1) 地方公営企業



3 下水道事業の経営状況

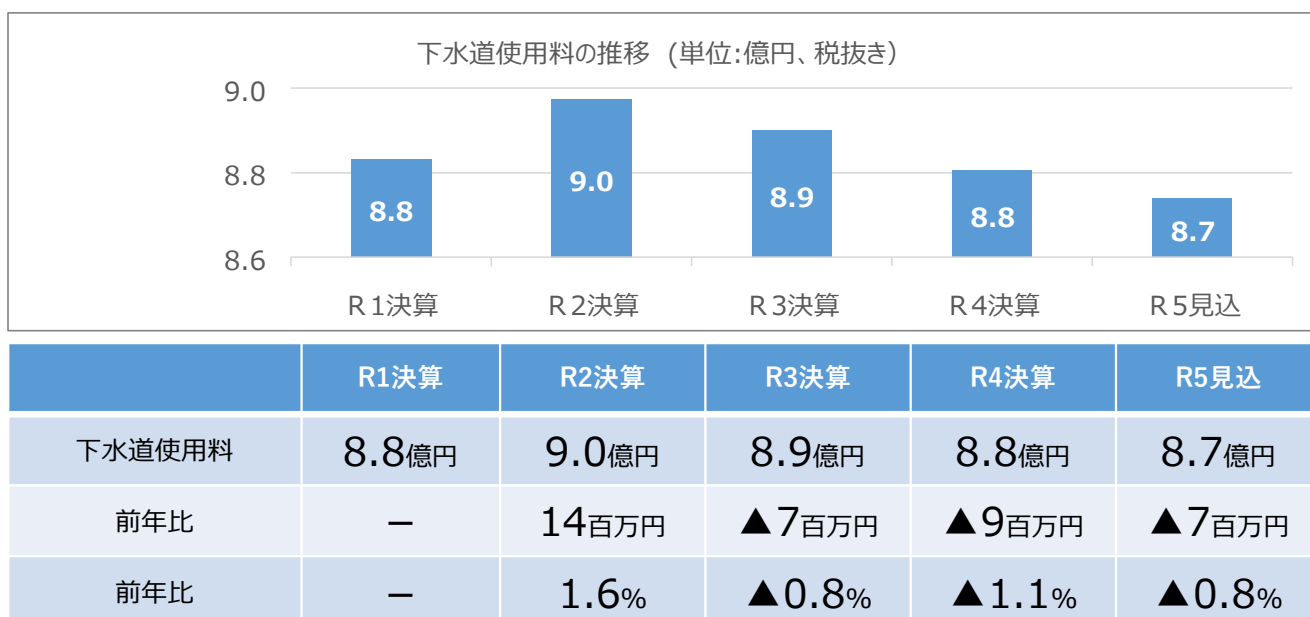
(3) 一般会計繰入金



7

3 経営状況

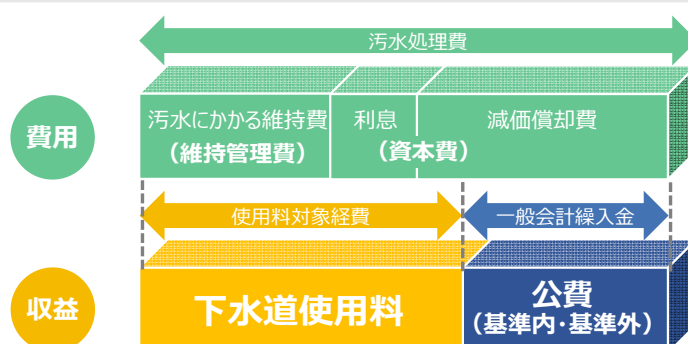
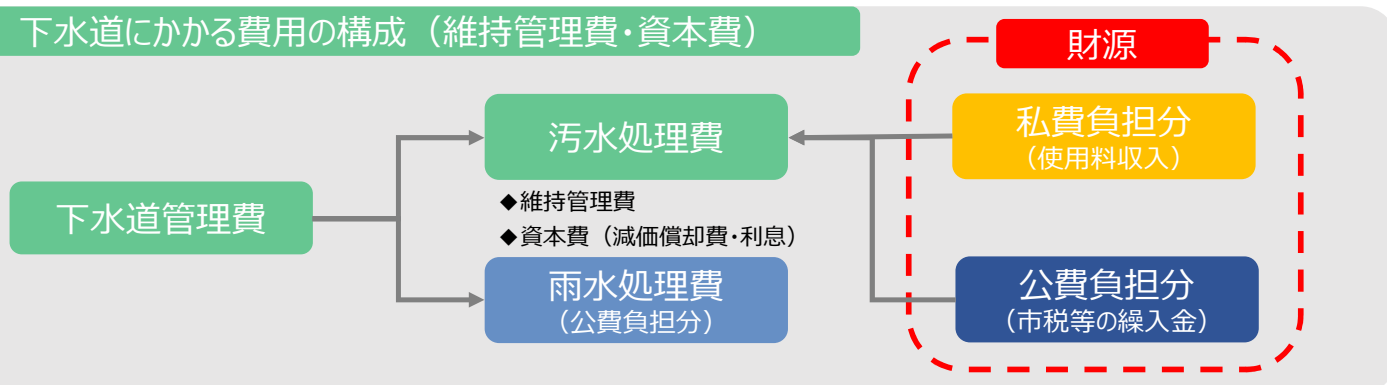
(1) 下水道使用料



8

2 下水道使用料改定の基本的考え方

下水道にかかる費用の構成（維持管理費・資本費）



9

説明資料 2 答申事項 (1) 下水道使用料改定の必要性

2 経営の原則

(3) 雨水公費・污水私費の原則

【雨水処理に関する経費】

→公費（税金）

○雨水の排除により浸水から街を守り、機能の保全を発揮することで、受益の範囲が**広く一般市民に及ぶ**。



【污水処理に関する経費】

→私費（下水道使用料）

○原因者及び下水道使用者を特定でき、受益の範囲は**使用者に直接つながる**。



11

4 経営改善に向けた取り組み

(3) 下水道使用料の改定

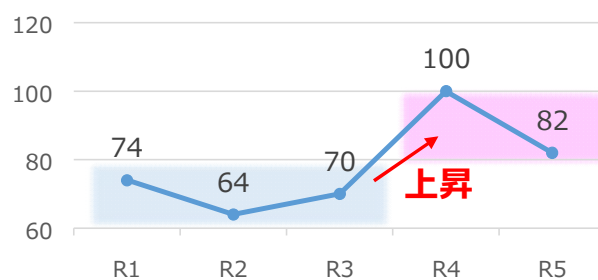
【改定の経緯】



人件費※の推移（単位:円）



動力費※の推移（単位:百万円）



12

4 経営改善に向けた取り組み

(1) これまでの取組

○職員数の削減

- ・民間委託の活用や業務の見直し

H25年度 → R5年度 ▲ 2名削減

○下水道事業以外の収益源の確保

- ・太陽光発電事業に着手（H27からR17までの20年間リース）
- ・20年間で約 **5.5億円（年平均2750万円）** の収益の見込み。
- ・順調に推移している。

○一般会計繰入金の抑制

- ・令和元年に公営企業会計に移行して以来、一般会計繰入金を削減

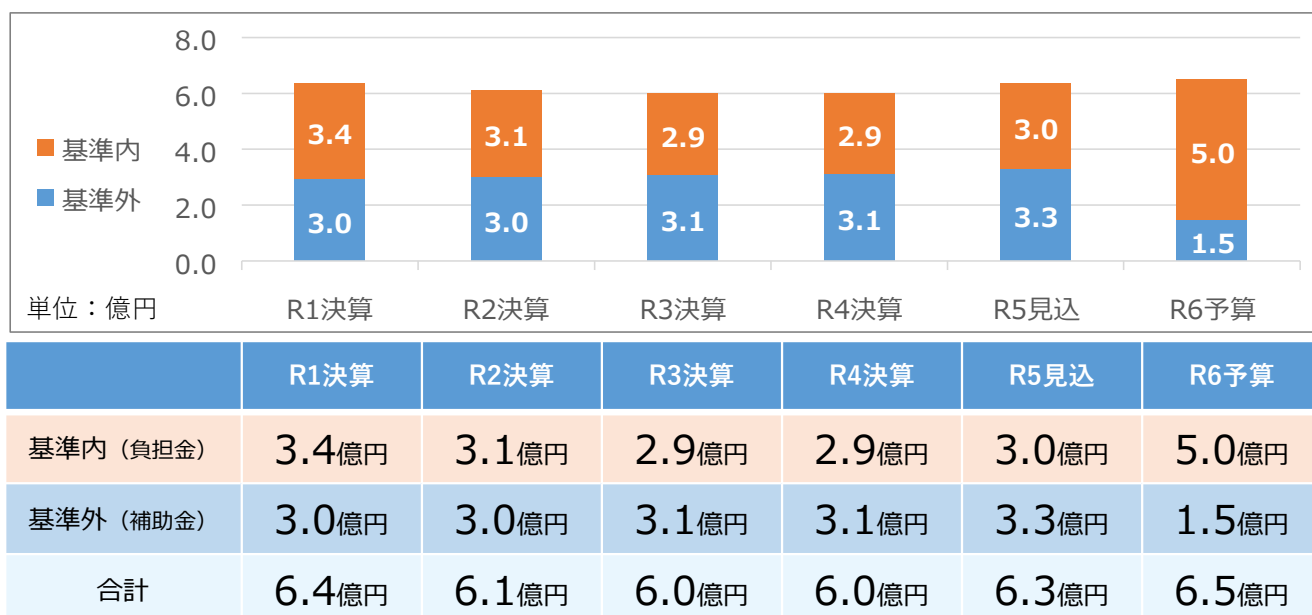
R1 **6.3**億円 → R2 **6.1**億円 → R3-5 **6.0**億円

※R5は動力費高騰による緊急対策を除く。

13

3 下水道事業の経営状況

(3) 一般会計繰入金



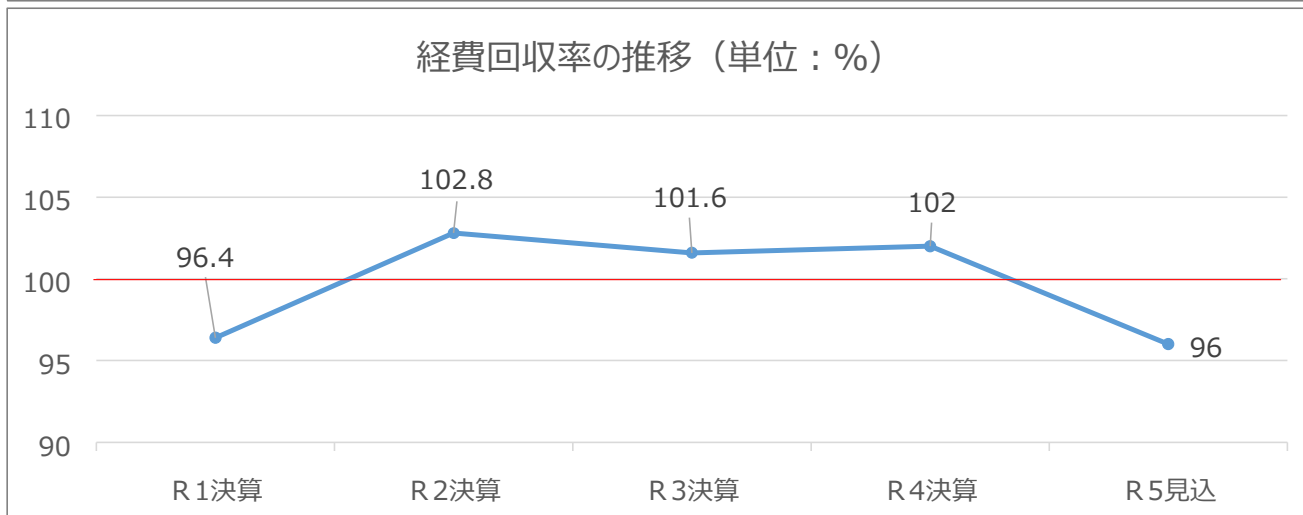
14

3 下水道事業の経営状況

(4) 経費回収率

下水道使用料水準の妥当性を示す指標で、使用料で回収すべき経費をどの程度使用料で賄えているかを示すもの。

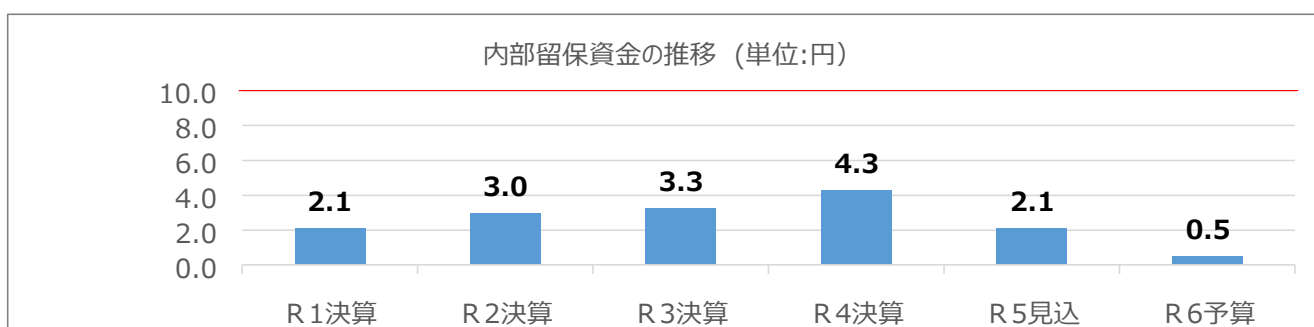
・経費回収率 = (下水道使用料 ÷ 污水处理費(公費負担を除く)) × 100 ※100以上が望ましい



15

3 下水道事業の経営状況

(5) 内部留保資金



	R1決算	R2決算	R3決算	R4決算	R5見込	R6予算
内部留保額	2.1億円	3.0億円	3.3億円	4.3億円	2.1億円	0.5億円
前年比	—	9千万円	3千万円	1億円	▲2.2億円	▲16百万円
前年比	—	41%	10%	31%	▲51%	▲76%

16

下水道事業 現金残高の推移（令和5年度）



【主な収支の内訳】

・年度当初の通帳残高(前年度末)：334,198,085→年度末の通帳残高：418,371,913

○収入

・一般会計繰入金の入金：4/7 (389,416,000)、6/23 (210,584,000)、

・地方創生臨時交付金の入金：9/8 (16,000,000)、1/25 (20,000,000)

・企業債の入金：3/25 (183,100,000)

・国庫補助金の入金：3/29 (125,117,000)

○支出

・企業債の償還(元金+利子)：720,373,456 (612,435,378+107,938,078)

※9月(元金+利子) 355,110,278、3月(元金+利子)365,263,178

説明資料 2 答申事項 (2) 改定時期

改定スケジュール

改定時期は**令和7年10月1日**とし、必要な手続きとともに、使用者への周知・説明を行う。

項目	内容	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
審議会	答申書提出	●									
庁議	意思決定	●									
全員協議会	議会報告		●								
議会	条例改正						●				
周知・説明	広報・HP・ ふれあいミーティング	――	――	――	――	――	――	――	――	――	●
準備	システム改修						――	――	――	――	
使用料改定	10/1改定										●

19

説明資料 2 答申事項 (3) 算定期間

20

3 目標の設定

使用料算定期間

【経費回収率向上に向けたロードマップ】

年度 項目	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
使用料在り方検討										
使用料改定		○			○			○		
経営戦略改定		○					○			
経営戦略計画期間										

論点

使用料算定期間

3年間

【3年とした場合メリット・デメリット】

メリット

・大幅な値上げの抑制（使用者負担の軽減）

デメリット

・料金変動が小さくなると財政リスクが残る

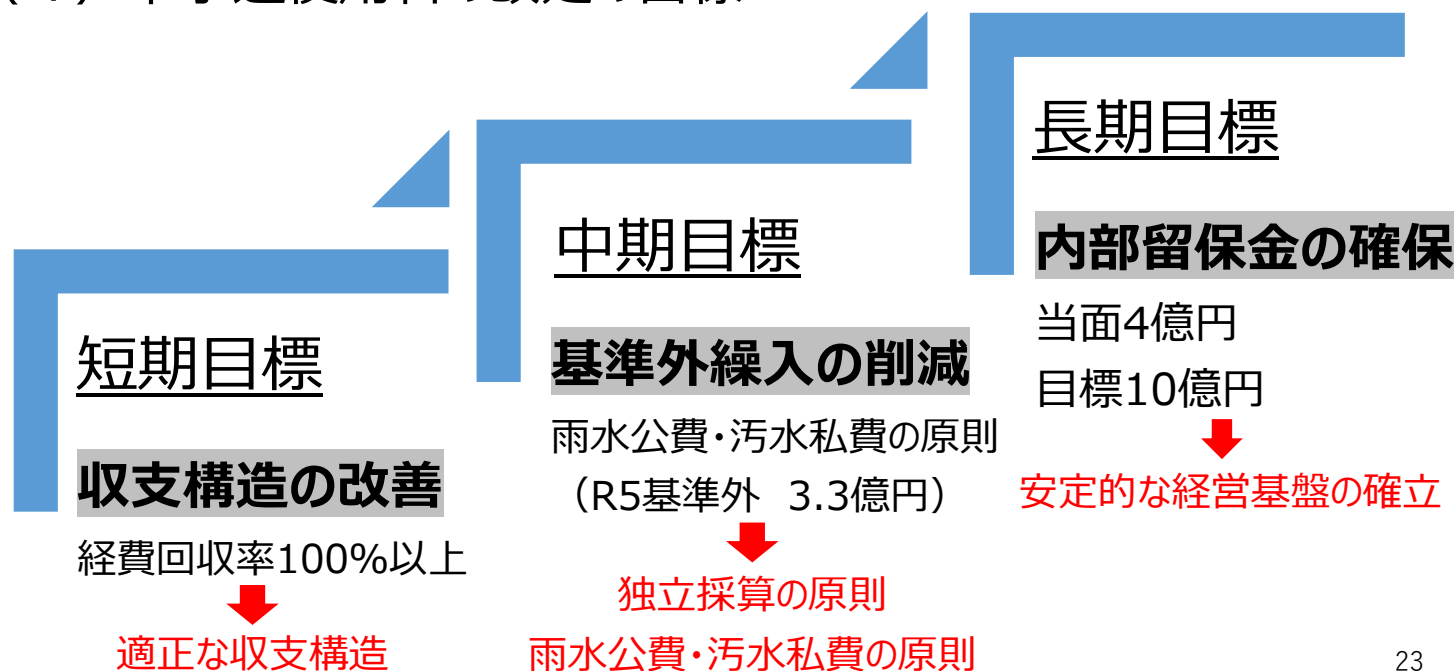
21

説明資料 2 答申事項 (4) 改定率及び使用料体系

22

4 経営改善に向けた取り組み

(4) 下水道使用料の改定の目標



23

4 使用料改定シミュレーション

改定案	改定率		基本料金	超過料金	合計	改定による増加額
	基本料金	超過料金				
	現行	現行	376,260,000	497,900,000	874,160,000	
1	+10%	+20%	413,886,000	597,480,000	1,011,366,000	137,206,000
2	+12%	+20%	421,411,200	597,480,000	1,018,891,200	144,731,200
3	+14%	+20%	428,936,400	597,480,000	1,026,416,400	152,256,400
4	+13%	+25%	425,173,800	622,375,000	1,047,548,800	173,388,800
5	+15%	+25%	432,699,000	622,375,000	1,055,074,000	180,914,000
6	+17%	+25%	440,224,200	622,375,000	1,062,599,200	188,439,200
採用案 7	+20%	+25%	451,512,000	622,375,000	1,073,887,000	199,727,000
8	+25%	+25%	470,325,000	622,375,000	1,092,700,000	218,540,000

※赤字については、基本料金と超過料金の割合が経費分解比率の割合になっています。(次頁参照)

24

1. 改定率

改定率のパターンについては、第2回審議会で提示したものと同様となっています。

採用案 (単位: %)

改定パターン	現行	1	2	3	4	5	6	7	8
基本料金	0	10	12	14	13	15	17	20	25
超過料金	0	20	20	20	25	25	25	25	25

2. 料金の比較一覧

料金の端数処理等については、個別に調整しています。

(単位: 円、税抜)

改定パターン	現行	1	2	3	4	5	6	7	8
基本料金(～10㎡)	1,180	1,298	1,320	1,346	1,334	1,356	1,380	1,416	1,474
10㎡超～30㎡以下	128	154	154	154	160	160	160	160	160
30㎡超～100㎡以下	158	190	190	190	198	198	198	198	198
100㎡超～500㎡以下	188	226	226	226	234	234	234	234	234
500㎡超	218	262	262	262	272	272	272	272	272

改定後の差額
月当たり20m3で
556円(税込611円)
月当たり50m3で
1676円(税込1843円)

3. 使用水量ごとの比較一覧

使用水量は、一般家庭(20、50㎡)、中規模使用者(100～500㎡)、大規模使用者(3,000～10,000㎡)を想定しています。

(単位: 円、税抜)

改定パターン	現行	1	2	3	4	5	6	7	8
20㎡/月の料金	2,460	2,838	2,860	2,886	2,934	2,956	2,980	3,016	3,074
50㎡/月の料金	6,900	8,178	8,200	8,226	8,494	8,516	8,540	8,576	8,634
100㎡/月の料金	14,800	17,678	17,700	17,726	18,394	18,416	18,440	18,476	18,534
500㎡/月の料金	90,000	108,078	108,100	108,126	111,994	112,016	112,040	112,076	112,134
1,000㎡/月の料金	199,000	239,078	239,100	239,126	247,994	248,016	248,040	248,076	248,134
3,000㎡/月の料金	635,000	763,078	763,100	763,126	791,994	792,016	792,040	792,076	792,134
5,000㎡/月の料金	1,071,000	1,287,078	1,287,100	1,287,126	1,335,994	1,336,016	1,336,040	1,336,076	1,336,134
10,000㎡/月の料金	2,161,000	2,597,078	2,597,100	2,597,126	2,695,994	2,696,016	2,696,040	2,696,076	2,696,134

説明資料 3 付帯意見

(1) 今後の下水道使用料の見直しについて

3 目標の設定

使用料算定期間

【経費回収率向上に向けたロードマップ】

年度 項目	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
使用料在り方検討										
使用料改定		○			○			○		
経営戦略改定		○					○			
経営戦略計画期間										

論点

使用料算定期間

3年間

【3年とした場合メリット・デメリット】

メリット

・大幅な値上げの抑制（使用者負担の軽減）

デメリット

・料金変動が小さくなると財政リスクが残る

27

改定スケジュール

(再掲)
新規資料

改定時期は**令和7年10月1日**とし、必要な手続きとともに、使用者への周知・説明を行う。

項目	内容	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
審議会	答申書提出	●									
庁議	意思決定	●									
全員協議会	議会報告		●								
議会	条例改正						●				
周知・説明	広報・HP・ ふれあいミーティング	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
準備	システム改修						●	●	●	●	●
使用料改定	10/1改定										●

28